

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	教育施設小委員会	主 査 名：垣野 義典 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)	委員長名：広田 直行 主 査 名：小篠 隆生
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・教育施設に関する情報収集・研究を継続的に行い、テーマを選定してシンポジウム・研究会等を実施する。 ・研究者・設計者の交流・研究討議の場、若手研究者育成の場を設ける。 ・教育施設計画の最新動向について情報発信を行う。 ・学校体系の変化に対応した学校建築計画について検討する。 活動計画 ・刊行物を周知するための公開研究会を開催し、戦後の学校建築の成果と課題についての議論を進める。 ・義務教育学校の制度化などの学校体系の変化に対応した施設の計画について、公開研究会の開催などを企画する。 ・少子化、公共施設老朽化などを背景とした、学校統廃合、複合化に関する公開研究会の検討を進める。 ・若手研究者の発表会や委員による研究・計画事例発表会等を開催し、若手研究者の育成、情報交換・研究交流促進、新しいテーマの発掘を進める。 ・最新事例および歴史的学校建築の施設見学会を実施する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：垣野義典 (東京理科大) 幹事：戸張秀隆 (梓設計), 立花美緒 (東京工業大学) 委員：伊藤俊介 (東京電機大学), 川島智生 (京都華頂大), 笠井尚 (中部大), 小泉治 (日本設計), 高橋政志 (石本建築事務所, 藤原直子 (九州大学), 宮本文人 (東工大), 八木真爾 (佐藤総合計画), 下倉玲子 (呉工業高等専門学校), 栗崎真一郎 (広島工業大学), 廣瀬和徳 ((株) 教育環境研究所), 西村文彦 (文部科学省)	
設置 WG (WG 名：目的)	学校体系の変化に対応した学校建築計画検討 WG 近年学校を取り巻く重要かつ喫緊の課題は、山積し残されたままである。本 WG では、こういった学校体系の変化に如何に対応してゆくべきか、大いに危機感をもって情報収集と蓄積、対応策の検討をすすめ、その結果をもとに公開研究会を開催し社会貢献を図る。	
2017 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://aijschoolarchitecture.wordpress.com/

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1 スクールアメニティ 2019 年 6 月号 pp. 24-33 学校建築タテヨコナメ『陽光台小学校の建築的ささやきと発現する境界』 2 スクールアメニティ 2019 年 7 月号 pp. 24-26 学校建築のいま 海外編 No.1 ロイチェンバッハ・スクール (チューリッヒ・スイス) 3 スクールアメニティ 2019 年 9 月号 pp. 52-54 学校建築のいま 海外編 No.2 ブーフエンの学校 (チューリッヒ・スイス) 4 スクールアメニティ, 2020 年 1 月号 pp. 46-59 学校建築タテヨコナメ ver.3 設計プロセスと運用実態から探る教育空間の可能性ー教科センター方式の中学校を事例にー
講習会	

催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. アクティブ・ラーニング!? 中学校教育を支えるための建築環境－2021 年度の新学習指導要領の全面実施に向けて－ (6 月 22 日開催) 参加者数 100 名 2. 板橋区立中台中学校 視察見学会 (6 月 22 日開催) 3. 学校建築タテヨコナナメ 教育学のいま (10 月 31 日開催) 参加者数 30 名 4. 学校建築タテヨコナナメ 立川第一小学校 新たな教室ユニットの挑戦 (1 月 14 日開催) 参加者数 50 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. ここ 2 年にわたって、出版社スクールアメニティとタイアップして進めている「学校建築 タテヨコナナメ」を 2 回開催し、実務者、研究者、現場職員に情報を公開、交換する場を設け意見交換を図るとともに、4 つの原稿を出版できた。 2. 近年、新設の中学校において教科センター方式を導入している板橋区において、実際に見学会を企画し、事例（板橋区立中台中学校）を対象に施設見学会を行った。同時に、公開研究会を実施することができた。予定人数を超える多くの参加者 100 名を集めることができた。 3. 委員会開催回数は最小限にとどめたが、開催時には委員や外部の建築家より最新計画事例の報告が行われ、内容の濃い議論や情報交換ができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 国内外の教育施設を対象とする小委員会であるため、全国から委員を集める必要があると考えるが、委員会予算では委員招集のための交通費が賄えず、大きな交通費負担をお掛けすることとなってしまう。 2. 年々、防犯上、個人情報などの観点から、施設の現地視察を公開型で開催するのは難しくなっている。